

# 親子聖書日課

NO.1632 2020.1/5-11 名前

[日]ルターは、この詩から新生讃美歌538番を作りました。この御言葉で力を得て、彼は宗教改革を成し遂げました。主はどんな敵をも打ち倒す力をお持ちです。ですから何も恐れることはありません。「力を捨てよ」とすると、主の力を頂けます。

[月]「全地に君臨される偉大な王」と言える王は、主の他には一人もいません。主は公平と慈しみに富み、全ての人を愛されました。主イエスは王の王ですから、今も大いに崇められ、「歌え、歌え、キリストの愛を」と、世界中で主をほめたたえます。

[火]聞くのと見るのでは、全く違うのが世の中です。しかし、永遠の神の都、天国は違います。聖書で聞いたことを、そのまま天国で見られます。だから、死を恐れることはありません。いつの日か、死を越えて、天国に行けることを期待しましょう。

[水]「知恵の詩編」と呼ばれ、一つの知恵さえ身につければ、豊かに生きられます。それは主を信じることです。主は十字架で私達の「魂を贖い」、復活して「陰府の手から取り上げて下さいます。主によって、人は永遠に生きることができます。

[木]苦難の日に主を呼べば、主は救って下さるとは、「困った時の神頼み」でよいと勧めたわけではありません。日頃から主を信じ、礼拝を捧げなければ、苦難の日が来ても、即座に主に救いを求めないものです。いつでも、主を呼び求めましょう。

[金]ダビデがバト・シェバと夫ウリヤに罪を犯した時、悔い改めた有名な詩です。王の権力で罪をもみ消さず、罪を求めて、主の憐みにすがりました。その結果、主に喜ばれるのは、いけにえではなく、「打ち砕かれた悔いる心」であることに気づきました。

[土]オリーブの木は冬でも葉は枯れず、いつまでも実を結ぶ美しい木で、クリスチャンの姿を表します。但し、教会から離れては、ただの木になってしまいます。「神の家に留まる」ためには、神を第一とし、礼拝も奉仕も献金も最優先に献げましょう。



	聖書	問題	答え
日	詩編 46:1-12	力をどうして、知れ、私は神ですか。	
月	47:1-10	主は全地に君臨されるどんな方ですか。	
火	48:1-15	神は何を越えて、私達を導いて行かれますか。	
水	49:1-21	神は私の魂をどうして下さいますか。	
木	50:1-23	何を神へのいけにえとして捧げるべきですか。	
金	51:1-21	神の求めるいけにえはどんな霊ですか。	
土	52:1-11	私は生き茂る何の木ですか。	
	感想と祈りの課題		